

へそ曲がり獣医が見た世界の IVC (個別換気ケージ) のいろいろ

講演要旨

Animal Health Care Consultant 今村英成

本日は Tecniplast のランチオンセミナーでお話をする機会をいただきありがとうございます。お話する内容は私のホームページの中の以下のサイトに書いていることをかいつまんでお話しすることになります。

個別換気 (IVC) ケージのいろいろ

<http://www4.ocn.ne.jp/~animals/IVC-2/IVC-2.html>

個別換気ケージシステムの各社比較

<http://www4.ocn.ne.jp/~animals/IVC-folder/IVC.html>

個別換気システムに関する論評

<http://www4.ocn.ne.jp/~animals/critic/critic.html>

IVC は大きく 1) 間接給気・間接排気方式、2) 直接給気・間接排気方式、3) 直接給気・直接排気方式に別れます。以下、私が見た個別換気 (IVC) ケージについて順を追ってご紹介していきます。

- 1) 最初に見たのは 1958 年、AALAS (アメリカ実験動物学会) がインディアナポリスで行われた後でした。見学したところは NIH (National Institutes of Health、国立衛生研究所) の中の 1 研究所 NEI (National Eye Institute) でした。ここで使われていた IVC の方式は「直接給気・間接排気方式」といわれるものです。給・排気プロアーはラックのトップに載っています。なによりも驚いたのは施設への入り方がきわめて簡単だったことです。革靴にディスポーザブルのカバーを掛け、ディスポーザブルの白衣を着て、ディスポーザブルの帽子をかぶっただけでした。
- 2) 2001 年の 10 月に新設の NAIDI (National Allergy and Infectious Diseases Institute) を見学しました。ここではいろいろな方式の IVC を見ることができました。各機種を比較検討する目的もあったようです。ここでは排気を天井の排気口に向かって行っていました。
- 3) 同じ日に NCI (National Cancer Institute) も見学しました。ここで使用されていた IVC は「間接給気・間接排気方式」といわれるものです。ケージのトップに取り付けられたフィルターを介して換気を行います。給・排気プロアーがラックのトップではなくて床置きになっているのが特徴的でした。
- 4) 最後は 2004 年に新設の The John Edward Porter Neuroscience Research Center を見学させていただきました。ここで使用されていた IVC は「直接給気・直接排気方式」といわれるものです。ケージの中に直接給気を行い、ケージの中から直接排気します。この方式ですと陽圧と陰圧の切り替えが可能のため、検疫室にも同じ機種が配備されていました。給排気のユニットがラックからセパレートされているのがユニークでした。
- 5) 今年は新築の病院の地下にできた新しい動物施設を見学させていただくことになっています。